

優秀賞

中小企業区分

## 株式会社ENJEC

※事業者の情報は応募時点(2018年)

所在地	福岡県福岡市南区長丘3丁目1-18
業種	環境計量証明事業
社員数	42名
受賞歴	なし
ウェブサイト	<a href="http://www.enjec.com">http://www.enjec.com</a>

### 地域の主婦を資格を持った環境の調査、分析技術者へ

#### 取組の目的

当社の主な業務は飲用水、河川水などの分析業務で、実験室での業務です。分析業務は対人業務ではなく、今日、明日で区切られた業務でもありません。そこで、10年前から、分析業務のアシスタント社員として、地域の主婦を採用することにしました。主婦にとって、①子供が病気や行事の時にいつでも休める、②勤務地が近い、という大きな利点があります。採用した主婦を含め社員全員を対象に、隔週、月曜日の朝会において15分程度の環境に関するゼミを実施しています。

一方、当社は2008年からエコアクション21に取り組んでおり、地域の井戸水の無料検査や希少植物の保護活動などを実施してきました。その活動の中で、社員の環境資格の取得支援を行っています。環境資格の取得は本人と当社のみならず、社会の環境保全にとって有意義なことと考え「エコアクション21活動手順書」に社員が環境資格を取得する際の講習会への参加費、受験費の支援、また、資格を取得した際には「資格手当」を明文化するなど、社員の環境資格取得の支援を行い、人材の育成に努めています。この活動はアシスタント社員(主婦)も当然含んでおり、長年、勤務し、熟練した社員には環境資格の取得をお願いしています。

#### 取組の実績

##### 1.環境問題全般の技術情報の習得

全社員を対象に、隔週の月曜日の朝会時に環境ゼミ(約15分)を実施しています。アシスタント社員(主婦)と熟練社員を対象とすることから、基礎的な内容と高度な内容で交互に実施しています。昨年度は23回実施しました。

## 2.環境活動への参加と環境資格の取得

エコアクション21の記録「環境活動管理記録」で、公園や河川の清掃活動:1点、希少水生植物(ツクシオオガヤツリ)の保護活動:1点、環境資格の取得:5点として毎年30点以上になるように数値管理を行い、実施しています。昨年度は44点でした。

環境資格の取得支援については、社員やアシスタント社員(主婦)のモチベーションを上げるため、エコアクション活動手順書の中で講習会の参加費、受験費の支援内容や手当を支給する資格の種類や額を具体的に定めています。

## 3.地域の井戸水の無料検査

当社が水質分析を業務としていることから、地域の井戸水の無料検査を環境活動として実施しています。地域のタウン情報紙で募集を行い、例年40~80件の依頼があります。本年は受付時期を秋から春に変更したため、38件にとどまりました。既に、10年間、継続して実施しており、依頼主の家に伺って、井戸水についての相談をうけることもあります。

2018年(平成30年) 3月31日

### 地域の井戸水を無料で水質検査(4月末迄) 環境に貢献する(株)ENJEC(エンジエック)

浄水器を設置したり、ペットボトル入りの水を買ったり、おいしい水、安心安全の水への関心が高まる昨今、「井戸水はおいしいと思うのだが、飲み水として大丈夫なのか心配」という井戸のある家庭に、今年も無料検査の朗報が。長丘3丁目で飲料水質検査や環境調査を専

門とする(株)ENJEC(津村英介社長・社員41人)では、地域貢献の一環として、4月末まで個人宅の井戸の水質を無料で検査してくれるというのだ。この地域貢献は今年で10年目となる。

#### 長年、長丘で仕事

「創業41周年を迎え、この地で長年仕事ができるのも地域あつてこそ。そこでわれわれの専門性を生かせる技術で地元に戻ってほしい」と無償検査を今後も続けていきたいと思えます。

#### 水質検査

検査は、理化学試験11種と細菌試験2種の13項目にわたり、通常依頼すると約1万円かかるもの。今回の井戸水無料検査は、事前に電話で「まいんずを見た」と告げると専用の容器を貸してもらえるので、それに自宅の井戸水を採取して同社に持ち込めば検査をしてくれる。結果は1週間ほどでわかるという。

「工事や地震で水脈が変わることもあり、この機会に無料検査を受けてみませんか。ただしこれは個人宅が対象です。業者の方はご遠慮ください」と同社では話している。

### 井戸水の無料検査の募集

## 4. エコアクション21の推進

毎月の第3月曜日に全社員を対象に、エコアクション21の環境活動報告(約 15 分)を実施しています。

環境活動内容として①二酸化炭素の削減活動 ②廃棄物量の削減活動 ③総排水量の削減活動 ④地域の環境保全活動 ⑤化学物質使用量の削減 ⑥グリーン購入の推進 ⑦サービスの環境配慮、などの活動の報告を行ない、エコアクション21のPDCAサイクルを推進しています。昨年度は11回実施しました。

また、エコアクション21の教育、訓練の中で、地球温暖化をはじめ、マイクロプラスチックによる海洋汚染問題など、地球規模の環境問題の最新情報について教育しています。昨年度は4回開催しました。

## 成果・課題

### 1. 環境活動としての環境資格の取得支援

エコアクション21の活動として取り組んで、10年目になります。その間、有資格者は年々増加しており、それに伴って受注する業務の内容も大型化、高度化、かつ多様化しています。

現在(2018年10月)の資格取得者数は以下のとおりです。技術士:3名、技術士補:6名、環境計量士:9名、作業環境測定士:8名、臭気判定士:7名、放射線取扱主任者:4名、特別管理産業廃棄物管理責任者:3名、水道技術管理者:1名、土壤汚染調査技術管理者:3名、生物分類技能検定者:1名、公害防止管理者:10名、その他、アスベスト診断士などの業務に必要な資格者:26名となっており、全従業員数42名で資格取得者の延べ人数は81名となっています。

従来の当社の業務は、大企業の建設コンサルタントの下請け業務(分析)が大半でした。しかし、技術士や環境計量士の取得者数が増加し、社員が高度な知識を持つようになり、国、県、市の大型の入札物件(数千万)も受注できるようになりました。また、臭気判定士や土壤汚染調査技術管理者が受注できる物件など、多様な業務にも対応できるようになりました。ちなみに、2018年度に受注した主な業務は次のとおりです。国交省1級河川水質調査、水資源機構河川水質調査、大学の作業環境調査、福岡県下水道水質試験、福岡市河川水底質調査など、1千万を超える入札物件の受注数は6件となっています。

次の目標は新たな環境技術が開発できるような高度技術者の育成です。当社が対象資格としている中の「技術士」がそれに該当します。専門性が高い環境計量士や土壤汚染技術管理者が次のステップの「技術士」試験へ挑戦するための環境を整える必要があります。

### 2. 地域の主婦の活用

10年前から、分析業務のアシスタント社員として、地域の主婦を採用しています。アシスタント社員については、エコアクション21のPDCAサイクルへの参加の他、環境関連企業の社員として、より高度な環境教育を実施しています。

現在(2018年10月)のアシスタント社員数(主婦)は全社員数42名中の12名であり、正社員

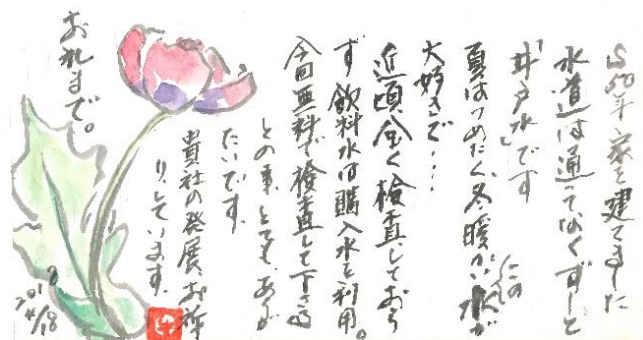
## 「環境 人づくり企業大賞 2018」受賞企業の取組事例

となった者や資格を取得し、資格手当対象者となった者など、知識の高度化も進んでいます。分析業務では項目によっては責任を持って実施できるようになっています。

一方、アシスタント社員の勤務年数はまだ少なく、その大半は小学生をかかえており、資格取得どころでは無いのが実情です。当面は環境関連の雑学を教育し、環境科学の専門用語を理解できるようにすることを目標にしています。

### 3.井戸水の無料検査などの地域での環境活動

地域の井戸水の無料検査は既に 10 年間継続して実施しています。依頼数は毎年 40～80 件です。依頼された方からたくさんの「お礼の手紙」を頂き、地域との繋がりが深まっています。また、社員が交代で公園、河川の清掃活動や希少水生植物（ツクシオオガヤツリ）の生育調査に参加しています。これらの活動は社員の環境教育に



無料検査の感謝の手紙

なると共に、希少植物に関する住民の問い合わせに対応するなど、地域社会の環境に貢献しています。

10 年間のエコアクション21の活動で、地域の清掃活動や社会貢献活動など、可能な事は既に実施してきましたので、次に何を実施していくかが常に課題となっています。

### 4.エコアクション21の推進

環境活動として①二酸化炭素の削減活動 ②廃棄物量の削減活動 ③総排水量の削減活動 ④地域の環境保全活動 ⑤化学物質使用量の削減 ⑥グリーン購入の推進 ⑦サービスの環境配慮などの活動を 2008 年から 10 年間取り組んできました。社員はこれらの活動を分担して実施しており、自然体で環境活動が実施できるようになりました。また、新たな取り組みとして、天井の蛍光灯のLED化や自動車のエコ運転活動を実施しています。一方、当社は、品質マネジメントシステム ISO9001 の認証も取得しており、ISO9001 の中の「社員の力量」の教育、訓練にエコアクション21の活動で取得した公的資格者をどのような活用していくかが、経営上の課題となっています。



## 今後の改善

### 1. 環境活動としての環境資格の取得支援

これからの受注業務をさらに高度化し、会社のビジネスを発展させるためには、最高度の技術者である「技術士」を育てる必要があります。これまでの資格取得の効果により、国土交通省などが発注する大型案件が受注できるようになってきましたので、その中に研究的要素を含む技術的に高度の作業を取り込んでいくことで、新規で困難な技術課題に取り組み、「技術士」の資格試験に合格できる社員を養成していきます。

### 2. 地域の主婦の活用

アシスタント社員には定年まで勤務して頂きたいと考えています。子供が中、高生になるころには、時間的余裕と環境技術の雑学も身につけてくると考えています。環境資格には生物調査から、水質分析、臭気分析など、たいへん広い分野がありますので、その中から本人に興味を持てる分野を選択させ、話し合いながら、資格取得の支援をやっていきます。

### 3. 井戸水の無料検査などの地域での環境活動

昨年度から一部開始しましたが、新たな環境活動として、NPO や市民活動に、環境の専門企業として、会社が所有する環境測定器材(水や土壌のサンプリング器材など)の貸出、また簡易測定器材(水中の窒素やリンが測定できるパックテスト)を無償で提供する活動を実施していきたいと考えています。

### 4. エコアクション21の推進

エコアクション21を環境活動から会社の経済活動を含めた環境経営活動へ進めていく必要があります。そのためにはエコアクション21の活動と品質マネジメントシステム ISO9001 とを融合させ、経営手法を改善していく必要があります。すでに、ISO9001 の中にエコアクション21を取り込んでおり、電子媒体化も完了しています。そこで、今後は ISO9001 の「力量認定に関する業務規程」の中の要求力量の教育、訓練を、これまでは主に上司が実施してきましたが、これからはエコアクション21の活動で誕生した多くの公的資格取得者が実施し、知識の高度化とPDCAサイクルの好循環を目指していきたいと考えています。

## 関連補足情報

### 2017 年度環境活動レポート

<http://ea21.jp/list/pdfn/0003647.pdf>

### 審査委員会からの講評

水質や大気などの環境分析の企業であり、42 人の全社員に対して環境資格取得を支援することで社全体の環境意識向上を図っている点が素晴らしい。アシスタント社員である地域の主婦 12 人に対しても、資格取得の門戸を開き、主婦が働きやすい環境作りや能力向上に取り組んでいる点も評価できる。これまでに資格取得の延べ人数が 81 人に上り、成果も表われている。

隔週の朝会では環境ゼミを開催し、熟練社員とアシスタント社員がそれぞれ理解できるよう、高度な内容と基礎的な話を交互に織り交ぜる工夫を施している上、毎月の朝会ではエコアクション21の環境活動報告を社員全員が聞く体制をとっており、誰も取り残さずに人材育成をしようとする姿勢がうかがえる。地域の井戸水の環境分析を無料で実施し、毎年 40～80 件の依頼に応じることで地域の環境意識向上にも役立ってきた。環境資格取得を通じた社員の力量向上が受注増にもつながり、良い循環が生まれている。

今後はアシスタント社員の資格取得をさらに後押しして定年まで勤務してもらいたいとの目標を掲げている。その実現にも期待したい。